



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社グッドスピード 上場取引所 東
コード番号 7676 URL <https://goodspeed-group.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 久統
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大庭 寿一 TEL 052 (933) 4092
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	31,494	8.6	△1,233	-	△1,672	-	△1,801	-
2023年9月期第2四半期	28,989	10.2	△187	-	△305	-	△212	-

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 △1,801百万円 (-%) 2023年9月期第2四半期 △212百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	△476.08	-
2023年9月期第2四半期	△57.42	-

(注) 2024年9月期第2四半期及び2023年9月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	31,580	△2,432	△7.9
2023年9月期	31,895	△647	△2.1

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 △2,479百万円 2023年9月期 △678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2024年3月1日付で公表しました「株式会社宇佐美鉱油による当社株券等に対する公開買付けの開始予定に係る意見表明に関するお知らせ」のとおり、株式会社宇佐美鉱油による公開買付け及びその後の所定の手続を実施することにより、当社株式が上場廃止となる予定であることから2024年9月期の業績予想は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	3,783,500株	2023年9月期	3,783,500株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	64株	2023年9月期	52株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	3,783,447株	2023年9月期2Q	3,696,232株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに持ち直しつつあります。ただし、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気が下振れるリスクや、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響に注意する必要があります。また、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要があります。

このような環境のなか、中古車業界におきましては、2023年10月から2024年3月までの国内中古車登録台数は、1,866,542台（前年同期比5.4%増）と前年同期を上回る結果となりました。（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ）

このような状況の下、当社グループにおきましては、2023年10月に福岡県福岡市に「グッドスピードMEGA SUV東福岡店」、2023年11月にグッドスピードMEGA SUV東福岡店の併設店として「グッドスピード東福岡買取専門店」をオープンしました。一方で、2023年10月に「グッドスピード安城ミニバン専門店」、「グッドスピード豊橋ミニバン専門店」、「グッドスピードSPORT岡崎輸入車専門店」、「グッドスピード津ミニバン専門店」、2023年12月に「グッドスピード名東SUVカスタム専門店」の一時休業を行うなど、経営資源の効率化を目指してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前期出店したMEGA専門店3店舗と当期出店したMEGA専門店1店舗が寄与したことや、前第2四半期連結累計期間に抑制していたオークションでの販売を当第2四半期連結累計期間において積極的に進めたことなどから31,494百万円（前年同期比8.6%増）となりました。しかしながら店舗数の増加に伴い人件費、賃借料、減価償却費等の販売費及び一般管理費が増加し、営業損失は1,233百万円（前年同期は187百万円の営業損失）、経常損失は1,672百万円（前年同期は305百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,801百万円（前年同期は212百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）という結果となりました。

なお、当社グループは、自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントのため、サービスごとの経営成績の内容を記載しており、セグメントごとの記載はしていません。

(自動車販売関連)

当第2四半期連結累計期間の四輪小売販売台数は、前期にMEGA専門店3店舗、当期にMEGA専門店1店舗を出店しましたが、5店舗の休業等も行ったことから7,434台（前年同期比2.5%減）となりました。一方、相場環境等を踏まえて前第2四半期連結累計期間に抑制していたオークションでの販売を、当第2四半期連結累計期間において積極的に進めたことで当第2四半期連結累計期間における売上高は29,514百万円（前年同期比10.2%増）となりました。なお、新車・中古車販売、買取を自動車販売関連としております。

(附帯サービス関連)

沖縄の観光需要回復などによりレンタカー事業は拡大した一方、整備・钣金・ガソリンスタンド等を含む整備売上が前年同期を下回ったことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,980百万円（前年同期比10.4%減）となりました。なお、整備・钣金・ガソリンスタンド、保険代理店、レンタカーを附帯サービス関連としております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は18,843百万円で、前連結会計年度末に比べ896百万円減少しております。主な要因は、現金及び預金が851百万円増加した一方、商品が1,485百万円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は12,736百万円で、前連結会計年度末に比べ582百万円増加しております。主な要因は、新規出店等により建物が582百万円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は26,341百万円で、前連結会計年度末に比べ1,928百万円増加しております。主な要因は、前受金が1,348百万円減少した一方、短期借入金が3,507百万円増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は7,671百万円で、前連結会計年度末に比べ457百万円減少しております。主な要因は、長期借入金187百万円、リース債務が215百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は△2,432百万円で、前連結会計年度末に比べ1,785百万円減少しております。主な要因は、利益剰余金が1,801百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月1日付で公表しました「株式会社宇佐美鉱油による当社株券等に対する公開買付けの開始予定に係る意見表明に関するお知らせ」のとおり、株式会社宇佐美鉱油による公開買付け及びその後の所定の手続を実施することにより、当社株式が上場廃止となる予定であることから2024年9月期の業績予想は記載していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	816,392	1,668,232
売掛金	2,720,027	2,819,762
商品	14,864,183	13,378,451
貯蔵品	3,247	3,079
前払金	455,232	383,899
前払費用	267,454	234,630
未収還付法人税等	254,455	140,682
その他	359,687	215,079
流動資産合計	19,740,680	18,843,819
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,123,905	5,706,482
構築物（純額）	880,477	915,377
機械及び装置（純額）	72,868	82,736
車両運搬具（純額）	67,742	51,885
工具、器具及び備品（純額）	201,396	227,147
土地	1,488,337	1,488,337
リース資産（純額）	1,790,109	1,663,399
建設仮勘定	1,098,666	1,217,245
有形固定資産合計	10,723,504	11,352,612
無形固定資産		
のれん	32,577	22,580
ソフトウェア	36,864	37,477
リース資産	83,143	70,694
その他	6,555	7,245
無形固定資産合計	159,141	137,997
投資その他の資産		
関係会社株式	6,913	6,913
出資金	888	1,068
保証金	1,042,431	1,024,883
長期前払金	108,103	97,829
長期前払費用	24,209	22,660
その他	89,212	92,655
投資その他の資産合計	1,271,759	1,246,012
固定資産合計	12,154,404	12,736,622
資産合計	31,895,085	31,580,441

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,061,597	1,144,543
短期借入金	15,387,324	18,894,688
1年内返済予定の長期借入金	2,208,965	2,126,664
リース債務	414,049	476,087
未払金	413,735	275,113
未払費用	396,366	449,737
前受金	3,723,017	2,374,842
預り金	133,598	70,627
返金負債	415,177	338,239
賞与引当金	135,398	63,611
役員賞与引当金	11,600	-
その他	111,841	126,929
流動負債合計	24,412,671	26,341,084
固定負債		
長期借入金	5,498,888	5,311,610
リース債務	2,015,241	1,799,911
資産除去債務	40,149	36,557
長期前受金	511,165	457,006
繰延税金負債	64,058	66,879
固定負債合計	8,129,503	7,671,965
負債合計	32,542,175	34,013,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,007,202	1,007,202
資本剰余金	1,026,168	1,026,168
利益剰余金	△2,711,625	△4,512,842
自己株式	△112	△122
株主資本合計	△678,366	△2,479,594
新株予約権	31,276	46,986
純資産合計	△647,090	△2,432,607
負債純資産合計	31,895,085	31,580,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	28,989,671	31,494,953
売上原価	24,450,123	27,539,875
売上総利益	4,539,548	3,955,077
販売費及び一般管理費	4,726,786	5,188,390
営業損失(△)	△187,237	△1,233,312
営業外収益		
受取利息	636	740
受取手数料	3,165	3,178
物品売却益	6,105	4,720
受取保険金	2,668	46,910
その他	3,511	5,020
営業外収益合計	16,087	60,570
営業外費用		
支払利息	112,393	314,093
支払手数料	21,219	132,293
その他	356	53,045
営業外費用合計	133,968	499,432
経常損失(△)	△305,118	△1,672,173
特別利益		
固定資産売却益	-	260
災害損失戻入益	28,383	-
特別利益合計	28,383	260
特別損失		
固定資産除却損	803	955
減損損失	8,922	-
課徴金	-	9,600
特別調査費用等	-	104,391
特別損失合計	9,726	114,947
税金等調整前四半期純損失(△)	△286,461	△1,786,860
法人税、住民税及び事業税	9,566	11,535
法人税等調整額	△83,772	2,820
法人税等合計	△74,206	14,356
四半期純損失(△)	△212,255	△1,801,217
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△212,255	△1,801,217

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純損失(△)	△212,255	△1,801,217
四半期包括利益	△212,255	△1,801,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△212,255	△1,801,217
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△286,461	△1,786,860
減価償却費	436,190	485,956
のれん償却額	9,997	9,997
災害損失戻入益	△28,383	-
減損損失	8,922	-
課徴金	-	9,600
特別調査費用等	-	104,391
固定資産除売却損益 (△は益)	803	695
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51,231	△71,786
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,700	△11,600
受取利息及び受取配当金	△636	△740
受取保険金	△2,668	△46,910
支払利息	112,393	314,093
売上債権の増減額 (△は増加)	617,949	△99,735
未収入金の増減額 (△は増加)	310,191	△44,926
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,671,867	1,482,657
前払金及び長期前払金の増減額 (△は増加)	391,598	81,606
前払費用の増減額 (△は増加)	△67,677	34,222
仕入債務の増減額 (△は減少)	△233,572	82,946
返金負債の増減額 (△は減少)	△38,458	△76,938
前受金及び長期前受金の増減額 (△は減少)	706,019	△1,507,373
未払費用の増減額 (△は減少)	△16,908	53,334
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	27,209	△8,922
未払消費税等の増減額 (△は減少)	201,811	289,123
その他	4,516	△284,877
小計	△579,961	△992,046
利息及び配当金の受取額	△89	29
利息の支払額	△118,765	△301,445
保険金の受取額	2,668	46,910
法人税等の支払額	△222,694	△3,208
法人税等の還付額	-	114,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	△918,843	△1,135,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△728,514	△997,816
有形固定資産の売却による収入	-	260
無形固定資産の取得による支出	△17,144	△6,427
貸付金の回収による収入	333	-
保証金の支払いによる支出	△147,646	△57,952
保証金の払戻しによる収入	40,962	64,243
保険積立金の積立による支出	△521	△3,442
その他	△10	△180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△852,540	△1,001,314
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	930,020	3,507,363
長期借入れによる収入	1,808,780	-
長期借入金の返済による支出	△1,356,951	△269,579
セール・アンド・リースバックによる収入	652,806	-
リース債務の返済による支出	△168,413	△249,226
社債の償還による支出	△30,000	-
株式の発行による収入	608,192	-
自己株式の取得による支出	-	△10
配当金の支払額	△34,201	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,410,234	2,988,547
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	638,850	851,840

現金及び現金同等物の期首残高	2,026,369	816,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,665,219	1,668,232

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度において、営業損失1,192,803千円、経常損失1,518,420千円、親会社株主に帰属する当期純損失3,527,232千円及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、当第2四半期連結累計期間の業績においても、営業損失1,233,312千円、経常損失1,672,173千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失1,801,217千円を計上していることから、2,432,607千円の債務超過となっております。このため、当社グループの資金繰り計画に重要な影響があり、後記(追加情報)(財務制限条項)のとおり財務制限条項に抵触していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

今後、当社グループは当該状況をいち早く解消し経営基盤の安定化を実現するために、以下の改善策に取り組んでまいります。

- ① 当社グループは、収益改善及びコスト削減等の施策を行っております。具体的には、新規店舗の出店と並行して中川・港SUVカスタム専門店や春日井ミニバン専門店といった既存店舗の撤退も行うことで収益性の改善に向けた施策を行っております。
- ② 当社グループの各種ステークホルダー(金融機関等)との緊密な連携関係を高め、必要に応じた返済条件の柔軟化等を含めた協力体制の強化を行っております。
- ③ 当社は、2023年12月25日の取締役会にて、主に運転資金へ充当することを目的とし、金融機関から2,000,000千円の借入を決議し、実行しております。
- ④ 後記(追加情報)(財務制限条項)のとおり、財務制限条項が付された借入について、財務制限条項に抵触しておりますが、関係金融機関と財務状態及び資金計画等の協議を行った結果、2024年6月末までは期限の利益喪失の権利行使をしない旨の同意を得ております。
- ⑤ 2024年3月1日付にて開示いたしました「株式会社宇佐美鋳油による当社株券等に対する公開買付けの開始予定に係る意見表明に関するお知らせ」のとおり、当社は株式会社宇佐美鋳油による株式公開買付けに賛同しており、公開買付者による信用補完を図ることを目指します。

しかしながら、収益改善等の施策の成果が、売上高及び業績に及ぼす影響について見通すことが容易ではないこと、また金融機関等との間で返済条件等の協力体制を築くために一定の期間を要することも想定されること及び、株式公開買付けが成立せず予定通り資金調達ができない場合があることから、現時点においては継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在するものと認識しております。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純損失1,801,217千円を計上し、利益剰余金が△4,512,842千円となっております。

(重要な後発事象)

(株式会社宇佐美鋳油による当社株式に対する公開買付けについて)

当社は、2024年4月10日開催の取締役会において、2024年3月1日付「株式会社宇佐美鋳油による当社株券等に対する公開買付けの開始予定に係る意見表明に関するお知らせ」にて公表しておりました、株式会社宇佐美鋳油

(以下「公開買付者」といいます。)による当社の普通株式及び新株予約権(以下「当社株券等」といいます。)に対する2段階の公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)に関して、第1回公開買付け価格と第2回公開買付け価格が異なることから、第1回公開買付けについて賛同の意見を表明すること、及び第1回公開買付け価格の妥当性については意見を留保し、第1回公開買付けに応募するか否かについては中立の立場をとり、対象者の株主並びに第2回新株予約権及び第4回新株予約権の新株予約権者(以下、「本新株予約権者」といいます。)の皆様の判断に委ねることを改めて決議し、2024年4月10日付「株式会社宇佐美鋳油による当社株券等に対する公開買付けに係る意見表明に関するお知らせ」にて公表いたしました。

その後、2024年4月24日付「(開示事項の変更)株式会社宇佐美鋳油による当社株券等に対する公開買付けに係る意見表明に関するお知らせ」の通り、株式会社Ane1a所有株式を第1回公開買付けにより公開買付者が取得することになりましたが、当初スキームと比較すると、公開買付者が当社を子会社化する時期及び完全子会社化する時期が早まる点及び第1回公開買付け後の時点で株式会社Ane1aが当社の株主ではなくなる点が異なりますが、その他の変更はないため、公開買付者は、少数株主の皆様からの公募を想定している第2回公開買付けを含め実質的な影響はないと考えているとのことです。

詳細については、2024年4月24日付で公表しました「(開示事項の変更)株式会社宇佐美鋳油による当社株券等に対する公開買付けの開始予定に係る意見表明に関するお知らせ」をご参照ください。